

福島第一原子力発電所の リスクの総点検について

平成27年3月16日
東京電力株式会社



東京電力

リスクの総点検について

<平成25年9月>

逐次的な事後対応

- 汚染水の増大
→ボルト締め型タンク等の製造
- タンク等からの汚染水の漏えい
→汚染水・汚染土壌の回収
など



汚染水問題に関する基本方針

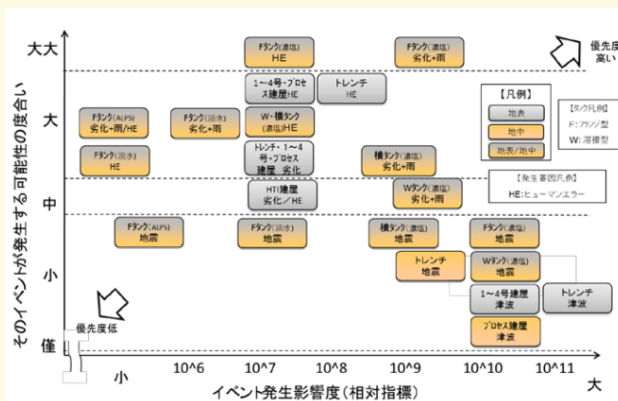
(9月3日 原子力災害対策本部決定)

『従来のような逐次的な事後対応ではなく、想定されるリスクを広く洗い出し、予防的かつ重層的に抜本的対策を講じる』

<平成25年12月>

予防的・重層的な汚染水処理対策

- ①汚染源を「**取り除く**」
 - ◆多核種除去設備による汚染水浄化
 - ◆トレンチ内の高濃度汚染水の除去
- ②汚染源に水を「**近づけない**」
 - ◆地下水バイパスによる地下水の汲み上げ
 - ◆建屋近傍の井戸(サブドレン)での汲みあげ
 - ◆凍土方式の陸側遮水壁の設置
 - ◆雨水の土壤浸透を抑える敷地舗装
- ③汚染水を「**漏らさない**」
 - ◆水ガラスによる地盤改良
 - ◆海側遮水壁の設置
 - ◆タンクの増設
(溶接型タンクへのリプレイス等)

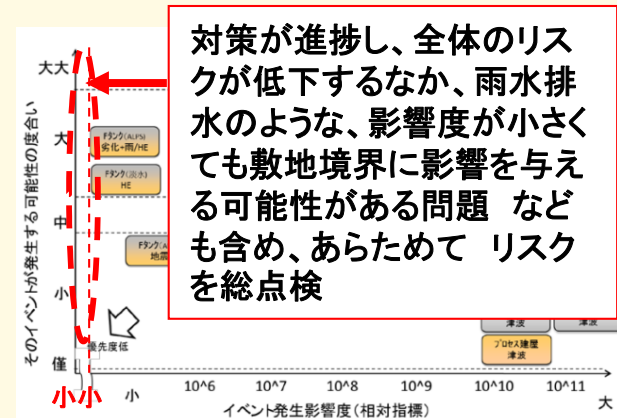


(リスクマップ)

<平成27年2月>

リスクの総点検

- ✓ 現時点で考えられるリスクについて、被災された住民や国民の視点に立って、あらためて網羅的に総点検を行い、現在の状況に見合った対策を示し、必要な情報の提供を行うこと。
- ✓ リスクの総点検に際しては、対策の進捗もふまえて、福島第一原発の敷地境界外に影響を与える可能性があるものを広く対象とすること。



(さらに対象を広くしたリスクマップ)

リスクの総点検の実施

■敷地境界外に影響を与える可能性のあるリスクの存在箇所について、以下の点検を実施する。（別紙1 整理例参照）

リスクの抽出：福島第一原子力発電所の敷地境界外に影響を与える可能性のあるリスクの存在箇所を抽出

リスクの分析：現在講じられている対策・モニタリングの状況やリスクの状況などを鑑み、追加対策の必要性を検討

リスクの洗い出し

敷地内にある放射性物質を含む水について

これまで、リスクの高い放射性物質濃度の高い汚染水に対し、優先的に対策を講じてきているが、それ以外に敷地境界外に影響を与える可能性のある汚染源を広く洗い出す。

◎これまで優先的に対策を講じてきているリスクの高い汚染水

- 2～4号機海水配管トレンチたまり水
【対策】汚染水の除去・トレンチの充填
- 建屋内滞留水
【対策】滞留水の浄化、地下水バイパス、サブドレン、陸側遮水壁等
- タンク貯留水
【対策】濃縮塩水の浄化、タンク増設、溶接タンクへのリプレイス、堰のかさ上げ・二重化等
- タンク堰内雨水
【対策】雨水浄化処理・散水
- タービン建屋海側の汚染土壌
【対策】水ガラスによる地盤改良



◎それ以外に敷地境界外に影響を与える可能性のある汚染源（放射性物質を含む水）を広く洗い出し、対策の検討を実施

- 2～4号機海水配管トレンチ以外のトレンチ類内のたまり水
- 放水路
- 屋外にあるその他のたまり水
（サンプ等のピット類、埋設管、井戸、仮置きタンク等）
- 降雨の雨水が汚染される可能性のあるもの
（廃棄物置き場、瓦礫、建屋屋根、排水路、防油堤等のピット類）
等

ダストが発生する可能性のあるリスクについて

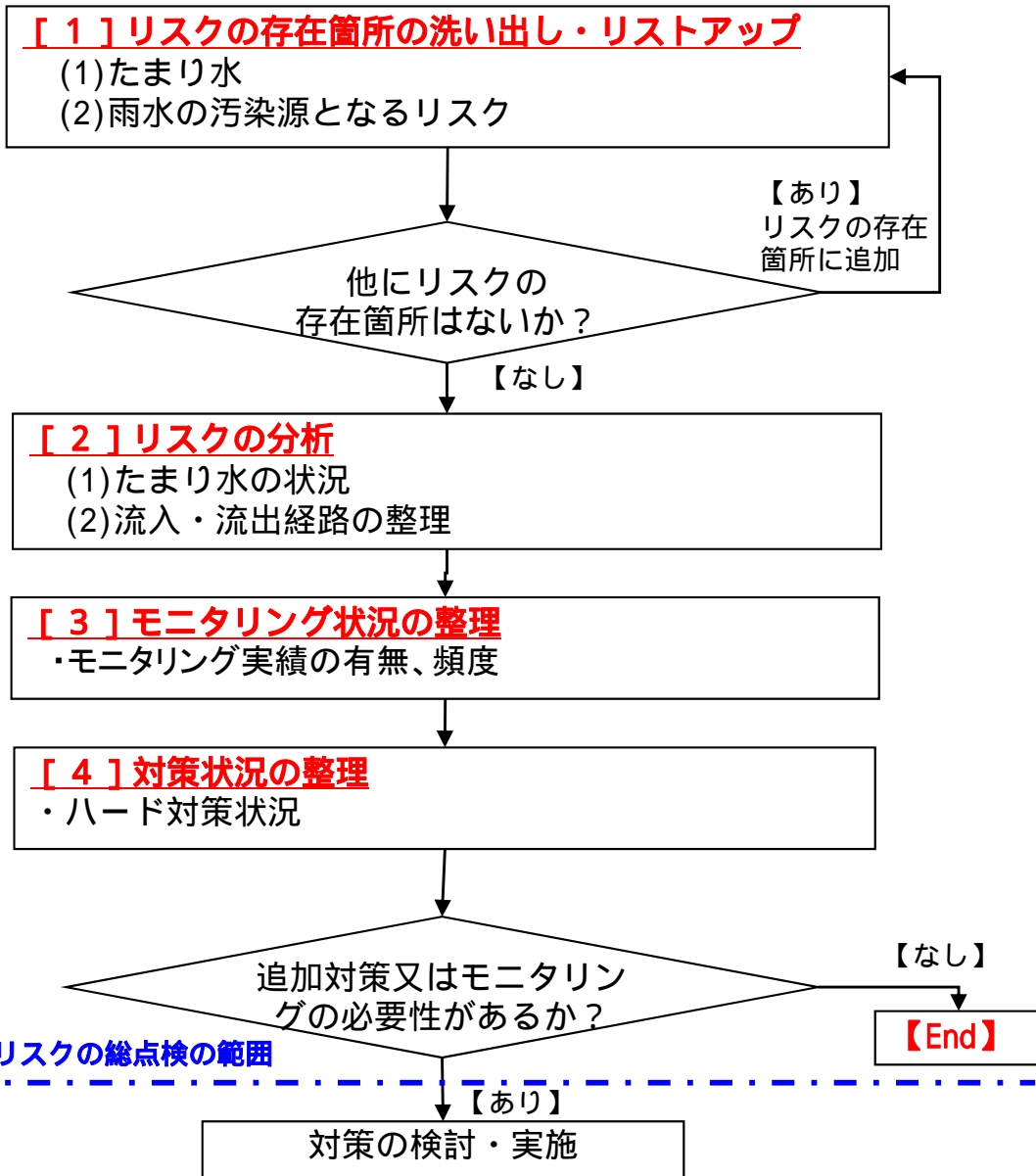
これまで、3号機オペフロ瓦礫撤去作業、1号機カバー解体作業等において、ダスト飛散抑制対策を講じてきているが、その他、作業等によりダストが発生し、敷地境界外に影響を与える可能性のある汚染源を広く洗い出す。

◎ダストが発生し、敷地境界外に影響を与える可能性のある汚染源を広く洗い出しを実施

- 建屋上部・瓦礫撤去作業
- 廃棄物置き場
- タンク解体作業 等

リスクの総点検フローチャート

【水について】



【ダストについて】

